



共創

NO 6(9月号)

令和4年8月25日発行

33日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。

夏休みには、「夏休みにしか出来ない体験」を楽しむことが出来たでしょうか。その体験の一つ一つが、子どもの成長にとって前に進むエネルギーになることと思います。今日から12月23日までの82日間、子どもたちが安心して楽しく学ぶことができるよう、一人一人に寄り添い、支援していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

さて、学校の教育活動は現在、第2ステージ後半の取り組みに入ります。第2ステージの合言葉は、「自分をみがく」です。本校では、「自分をみがく」ことを「自分らしくなっていくこと」ととらえ、毎日ちょっとずつの自分の成長を喜び、自分のことを好きになってほしいと願っています。それが自尊感情を育て、人を大事にすることへとつながるからです。

そこで、今日の全校集会では、子どもたちに「わたしはあかねこ（サトシン/作・西村敏夫/絵）文溪堂」という絵本を紹介し、自分の経験も含め、次のような話をしました。（一部抜粋）

皆さんは、自分のことが好きですか？「あなたのよいところって何？」って聞かれたら、すぐに答えることが出来ますか？校長先生も、時々、そんなことを聞かれることがあります。でも、心の中では「よいところなんてあるのかな」と困ってしまいます。

そんな時、六合小の子供たちからもらった手紙のことを思い出しました。

「校長先生、毎朝おはようってあいさつしてくれてありがとう。いつも元気になるよ。」

「校長先生は、いつもゴミを拾っているね。やさしい人だなんて思っているよ。ありがとう。」

いつも何気なくしていることだけど、「人を元気にすることができるんだな。やさしい人なんて思っている人がいるんだな。」と、嬉しくなって、ちょっと自分のが好きになります。これからもがんばって続けようって、自分を励まします。皆さんにも、そんな経験あるでしょうか？

4月の始業式で、皆さんの体の細胞はどんどん変わっているという話をしました。でも、変わっているのは体だけではありません。

昨日までできなかった計算ができるようになった！

この前までさわれなかったカマキリを今日手でつかめるようになった！

友達とけんかして、もうあんなこと友達には言わないって約束した！

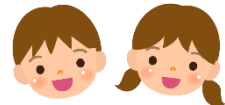
今日、今まで話せなかった友達と話をした。その子のことがちょっと好きになった！

ほうら、みんなは毎日毎日変わっている。ちょっとずつ前に進んでいる。

それで十分！人となんてくらべなくていい！人の当たり前は、自分の当たり前じゃないし、自分にとっての特別なことなんだから。「ああ、今日も私は成長したんだ」って、笑ってほしい。

「自分っていいじゃん。自分ってすごいじゃん」って、自分のことを好きになってほしい。

それが、**自分をみがく**ということです。今日は、どんな自分になるのかな？明日は、どんな自分になれるのかな？皆さんのちょっとずつの成長が楽しみです。



子どもが「今日もちょっと成長できた」と喜ぶには、周りの人からの声かけが必要です。「やるじゃん」「できたじゃん」「ありがとう」。ほんの少しの歩みを、1mmの成長を大切に、子どもを認め励ますこと。そんな声かけで、子どもの自尊感情を育てていきたいと思っています。（校長 小林正宣）